



2024年11月5日

各位

会社名 株式会社 Amazia
代表者名 代表取締役社長 佐久間 亮輔
(コード番号: 4424 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 神津 光良
(TEL. 03-6415-3435)

連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表及び通期単体業績予想の修正並びに特別損失（固定資産の減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2024年9月期第4四半期決算より、従来の単体決算から連結決算に移行いたします。これに伴い2024年9月期の通期の連結業績予想を下記のとおり公表いたします。

また、2024年9月期において、特別損失（固定資産の減損損失）の計上をいたしました。その結果及び最近の業績の動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2023年11月13日に公表した2024年9月期の業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結決算への移行について

当社は、2024年2月20日公表の「子会社設立に関するお知らせ」のとおり、2024年3月11日付で株式会社 Amazia Link を設立したこと及び2024年8月13日公表の「子会社設立及び新たな事業の開始に関するお知らせ」のとおり、2024年9月2日付で株式会社 ウィズマイメディカル を設立しました。これに伴い、2024年9月期第4四半期より、同社を連結子会社とする連結決算に移行いたします。

2. 2024年9月期通期連結業績予想数値の公表（2023年10月1日～2024年9月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
2024年9月期	百万円 3,580	百万円 △400	百万円 △410	百万円 △590	円 銭 △89.70

3. 2024年9月期通期単体業績予想数値の修正（2023年10月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,000 ～4,674	百万円 △460 ～△373	百万円 △461 ～△374	百万円 △467 ～△380	円 銭 △74.04 ～△57.79
今回修正予想（B）	3,580	△360	△360	△590	△89.70
増減額（B - A）	△1,094 ～△420	13 ～100	14 ～101	△210 ～△123	
増減率（%）	△23.4 ～△10.5	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2023年9月期）	4,650	10	15	△60	△9.27

4. 修正の理由

当期の業績において、「マンガ BANG！」は、一定水準の MAU を維持できる程度の広告宣伝費に抑えつつ、オリジナル作品の制作に注力するとともに 2023 年 10 月に Web 版「マンガ BANG！」を「マンガ BANG ブックス」にリニューアルし、Web 電子書籍市場にも本格的に参入しました。また、株式会社 Amazia Link、株式会社ウィズマイメディカルを設立し、新規事業の立上げに注力いたしました。

しかしながら、「マンガ BANG ブックス」及び新規事業の立上げが遅れたため、売上高につきましては、前回発表予想を下回る結果となりました。

利益につきましては、当該事業の立上げ遅延により、先行投資の費用が抑えられたため、営業利益、経常利益は前回発表を上回りましたが、「5. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上（連結・単体）について」に記載のとおり、固定資産の減損損失 107 百万円を特別損失に計上しました。また、事業の立上げが遅れている株式会社 Amazia Link 及び株式会社 WithLinks に対して関係会社株式評価損をそれぞれ 43 百万円、30 百万円を特別損失に計上するとともに、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当事業年度末において繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）40 百万円を計上したことで、当期純利益が前回発表予想を下回りました。

なお、連結子会社である株式会社 Amazia Link に対する関係会社株式評価損 43 百万円は、連結決算においては相殺消去されるため、本評価損による連結業績への影響はございません。

5. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上（連結・単体）について

当社が属する電子書籍市場は、巣ごもり需要の反動及び業界内の競争の激化、並びに世界経済の停滞による広告市況の悪化が継続しております。このような厳しい市場環境の中で、当社は 2024 年 9 月期を先行投資期間と定め、営業赤字となることを前提として、Web 版「マンガ BANG ブックス」及び新規事業の立上げ、並びにオリジナル作品の制作への先行投資を積極的に行ってきました。

しかしながら、「マンガ BANG ブックス」及び新規事業の収益化に、期初の想定よりも時間を要したため、2025 年 9 月期以降も先行投資が必要となる見込みとなりました。

以上を踏まえ、今後の事業計画を保守的かつ慎重に見直し、固定資産に係る回収可能性を検討した結果、本社の共用資産 107 百万円を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上